

さるたひこじんじゃ
おいかみ 伝承スポット ④ 猿田彦神社



地域の交通・安全願う、道案内の神さま

猿田彦神社のある地は、栗太郡内古道のひとつで、南大萱（おおがや）、南笠、矢倉をむすぶ街道と矢橋街道の分岐点にあたる交通の要となる場所です。寛元二年（1244年）に伊勢国浦田の里からこの地へ勧誘したと伝えられています。以前は木が生茂るこんもりした森で、村の鎮守を思わせる風情がありました。現在は、守山市に抜ける前の道路が整備され、近隣の宅地開発も迫ってきて、木もすっきり切られ眺めのよい風景が神社の境内から広がります。正月には境内に数台の車を迎え入れ、交通安全の祈願を行いました。1月左義長（15日）、伊勢参り（17日）、日待ち講（21日）（昔は各家もちまわりで行った行事）、2月初午祭（12日）など年頭は儀式が続きます。これまでも、そして、これからも。地域の方々に親しまれ敬愛される、猿田彦神社です。

【場所】草津市野路町 411 野路川ノ下町
氏子・約 150 戸



猿田彦神社の左義長

